

サービスロボットビジネスフォーラム2011

モノづくり日本会議 抄録

サービスロボットが担う未来

題を抱えている。被災地に限ら
ない。若年労働者の避難により人手
が少なくなった東北は深刻な問
題を抱えている。

ロボット技術組み入れた「特区構想」必要

東日本大震災はわが国に大きな損失を与えた。被災者は今も大変な苦労を重ねている。我々は震災への対応からいかつかの教訓を学んだ。特に「備える」ことの大切さを痛感させられた。日本が得意とするロボット技術をいかし将来への備えをしっかりと見直していくなかで、今回の災害で日本のロボット開発の課題も明確になった。災害現場で使うロボットは実績のあるものが望まれた。一部のロボット関係者は保有するロボットの活用を早い段階から働きかけたが、日本のロボットは研究開発段階のもののがほとんどだった。現場に投入するには多くの課題をクリアしなければならず。日本は過去のJRCの臨界事象を契機に原発点検用のロボットを導入できなかった。福島原発事故に対しては米国製ロボットが真っ先に使われた。日本は過去のJRCの臨界事象を抱えている。

ロボットビジネス推進協議会の責務である。

題を抱えている。被災地に限ら

ない。若年労働者の避難により人手

が少なくなった東北は深刻な問

題を抱えている。被災地に限ら

ない。若年労働者の避難により人手